

～ 多電極挿入型電磁流量計の採用事例 ⑥ ～

《メンテナンスは手間いらず、ゼロ点確認も確実》

お客様：G町水道課様 / 配管口径：200A / 用途：配水流量計（電磁流量計交換）

G町水道課様は、老朽化した配水用のフランジ型電磁流量計の交換を検討されていました。しかしバイパス管のバルブが動かないため、既設機器のゼロ点調整はできず、また交換したくても検出器を取り外すこともできませんでした。

この現場では、以下のようなマルチマグのメリットが活かされました。

- ・ 不断水での設置やメンテナンスが可能
- ・ ゼロ点の確認や調整も簡単で確実
- ・ 既設電磁流量計の検出器の撤去が不要

ここでは既設電磁流量計の検出器の横に不断水穿孔を行ってメタルマルチマグのセンサを設置し、既設機器を撤去する必要はありませんでした。

メンテナンスにも断水やバイパス管は不要です。

例えばゼロ点の確認・調整はセンサを配管から抜き、水を張ったバケツなどに入れるだけで確実に行えます。従来の電磁流量計や超音波流量計は、バイパス管が使用できても完全に止水されているかの確認もできず、確実な調整ができないこともありました。

また将来的に必要となった場合、マルチマグならばセンサのクリーニングも簡単です。

マルチマグならば設置だけでなく、メンテナンスも簡単で確実です。

《G町水道課様 施工例》



ゼロ点確認および調整中



設置後ピット内部